

# ステークホルダーとのコミュニケーション

ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通して成長していきます。

## コミュニケーションに対する考え方

東京エレクトロングループは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを積極的に推進しています。環境・健康・安全への取り組みを進めるためには、事業活動にかかわるすべての皆様とできる限り情報を共有し、コミュニケーションのなかからフィードバックを得るといった相互作用が不可欠と考えているからです。その一環として、2000年から環境報告書を発行しています。環境報告書は製造系事業所での体験学習などでも使用し、コミュニケーションの推進に活用しています。また、ホームページを通じた環境・健康・安全に関する情報開示にも努めています。今後も情報開示やステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに積極的に取り組んでいきます。



環境報告書を用いた会社説明

## EHSタイムズとイントラネットによる情報共有

環境・健康・安全に関するグループ社内報「EHSタイムズ」を隔月で発行し、グループ内各委員会の審議内容や、グループ各社や事業所の取り組みなどをわかりやすく紹介しています。各グループ会社や事業所でも同様の広報誌を作成しており、従業員の意識向上に役立てています。イントラネットを通じたグループ内の情報開示や情報交換も積極的に進めています。

## 社会貢献に対する考え方

当社グループは経営理念で「社会に対し、常に規律を守り、協力的でありたい」「社会の健全な発展のために協調することが我々の義務である」とうたっています。こうした考えに基づき、行政や地域社会との信頼関係を築きながら、国内はもちろん、海外においても様々な社会貢献活動を展開しています。今後も活動をさらに拡充し、お客様や社会とともに歩んでいきます。

## 国内での取り組み

### 「肥後の水資源愛護賞」を受賞

合志事業所は水の循環利用や節水に取り組んできました。この取り組みが評価され、2004年度に「肥後の水資源愛護賞」を受賞しました。同賞は肥後銀行と熊本日日新聞社が共催するもので、地下水の枯渇や汚染防止の活動に取り組む団体へ贈られる賞です。合志事業所では、生産用冷却水や真空ポンプシール水の循環利用、水を使わない真空ポンプの導入、節水などの活動により、2003年度に水使用量をピーク時と比べて4万トン削減しました。



「肥後の水資源愛護賞」受賞風景

## TOPICS

### 海外における社会貢献活動 Tokyo Electron U.S. Holdings, Inc.の活動

当社は、環境との共生を目指し様々な社会貢献活動を展開しています。例えば、近隣の企業とともに地域の道路の「里親」となり、社員が勤務時間中にボランティアで清掃活動を行っています。このほかにも、従業員の意識啓発を目的としたリサイクルイベントの開催や、行政との環境協定を通じた大気汚染削減などに取り組んでいます。こうした活動が評価され、地域で環境関連の賞を受賞しました。

再生可能な自然エネルギーを使うことも宣言し、行政やエネルギー会社が連携して行う「グリーンパワー・プログラム」という活動に参加しています。当初は再生可能エネルギーの使用によりエネルギーコストが増加してしまいましたが、一定価格を維持する契約を結んでいるため、現在ではコストの削減にもつながっています。当社は誰もが同じように環境保全の責任を担うべきという考えに基づき、今後も、東京エレクトロングループの環境分野での高水準な活動に努めていきます。

Tokyo Electron U.S. Holdings, Inc.のVPであるルー・スティーン (Louis Steen) 氏が、自社の環境活動に関するインタビューに回答した内容です。



Tokyo Electron U.S. Holdings, Inc.  
VP of Marketing  
ルー・スティーン  
(Louis Steen) 氏